

# <真剣味> 1 1 4

2022. 8. 16

- ・夢は進むべき道を照らしてくれる人生の灯台・たくさん傷ついた木こそ立派な幹をもつ
- ・日々の努力がいつか必ず花を咲かせる
- ・自分に合った歩幅で歩めばいい
- ・大きく深呼吸気持ち新たに
- ・明日はきっと良くなる、まずは信じる
- ・優しく笑って和む穏やかな日々に

<さらにステップアップするために>

第50回日本リトルシニア日本選手権大会に参加するにあたり、多くの人々に協力していただき、また応援していただき誠に感謝しております。ありがとうございました。

<当日の選手達> 1回戦:対練馬リトルシニア 0対2負け

- ・第1試合のため(8時スタート)、起床・出発すべてに早く、神宮球場に到着してもまだ球場インできないため、キャプテンを中心に球場脇でウォーミングアップをしっかりと取り組んでいた。6時30分を過ぎて、球場インしてからも、短い時間の中で、キャッチボール、トスバッティング(道具チェックを含む)など、テキパキと取り組んでいた。

◎「まず1勝」の目標のもと、試合ではいつものように対応しようと考えていたが、相手左投手の120km/時を超えるスピードボールにうまく対応できなかった。何度かチャンスは作ったが、ビッグにすることができず、生かしきれなかった。

『きっと私が「流れを止めてしまう」サインを出してしまったか』、『いつの間にか選手にプレッシャーを与えていた』に違いない。だから、いつもは出来ている事でも、うまくいかなかった。その点が残念で、選手に申し訳なく思います。

チーム創設13年目で初出場の全国大会、いつまたここへ来られるか分かりませんが、今回の経験で、是非また来たいと強く思いました。勉強のやり直しだ!

<ビックリしたこと(他のチームを見て感じたこと)>

- ・特に体の違いを感じた。→下半身の太さが違う。→今後のトレーニングに繋がるとメモした。
- ・各チームの投手のスピードが120km/時以上の人が多かった。→リリースされたボールを目視してからの反応力を上げる練習が必要と思った。
- ・身体の大小に関わらず、スイングスピードが速かった。→バットの長さ、コンパクトなスイングを意識する、疲れても繰り返す強い心を磨く。

<神宮球場だから出会えたかも>

- ・多くのOBたちが応援に駆けつけてくれた。とても懐かしい顔、選手の時のプレーを思い出しました。チームを気にしてくれていて、とても嬉しかった。
- ・まさか我が家の長男が応援に来てくれていた。これはビックリです。
- ・テレビ中継があった。ただ我が家ではそのテレビを視ることが出来ないなので、家に帰ってから直ぐCSテレ朝日1.2と契約した。
- ・監督会議で明治記念館に64名のすべての監督が集まり、大会の大きさを再確認した。また、大学の先輩と同じ監督という立場で、この場所に来られたことがとても嬉しかった。

【神宮球場での1日を振り返って】(選手の文章を抜粋した)

- ・1つのボールに集中することを心掛けた。これまで全国大会を経験したことがなかったから、どういう相手がいて、どういうプレイスタイルでくるか全然わからなかったけど、自分達は常にチャレンジャーの気持ちでやってきたからそれを信じて戦った。(緩急上手な選手より)
- ・ついにこの場所で野球が出来る。負けてしまったけど最高だった。チームのために全力を尽くせた。最後は板垣コーチと一緒に野球がしたかった。県外のチームの選手は体がでかく、また、スイングが速い。(38mスローが良くなった選手より)

